



いすぐみだより No.3

令和6年12月20日 一/門わくわく保育園



12月に入り寒さが一層厳しくなりましたが、子どもたちは大喜びで園庭に降る雪やあられに見入っています。先日は発表会においでいただきありがとうございました。『ねこのおいしゃさん』は子ども達が大好きな絵本で、りす組の子が転んで泣いているとみんなで「ニャー！」と痛みが治るように気合を入れたり、一人が「ねこねこねこ…」と歌い出すと大合唱になったりして、お部屋でお話しごっこを楽しんでいました。最初はみんながねこのおいしゃさんになりたくて役を決めるまで時間が掛かりましたが、可愛い衣装をみたり、繰り返しお話しごっこを楽しんだりする中で、ゾウやきりん、うさぎの患者役にも「なりたい！」と言ってくれる子が出てきました。発表会当日は大勢のお客様に緊張し固まってしまう姿もありましたが、ステージでお家の方を見つけ嬉しそうにしていましたね。楽しんで劇遊びをしている様子や子どもたちの成長を感じていただけたのではないのでしょうか。

もうすぐ年末年始のお休みが始まります。年明けから少しずつ進級に向けての活動が始まります。準備をしていただくものなどありお手数をおかけいたしますが、ご協力よろしく願いいたします。



〈生活の手を育てましょう〉

粘土を丸める、指に糊をつけて紙を貼る。洗濯ばさみでつまむなど、手指の動きが巧みになってきました。蛇口をひねる、ミカンの皮をむくなど、生活の中にも手指の操作性を高めるチャンスがあふれています。つい大人がやってあげてしまうのではなく、子ども自身ができる機会を作っていきたいですね。

〈お箸の開始時期〉

お箸の使用は急がず、スプーンなどを鉛筆のように持ち、自在に使えるようになってから始めるようにしましょう。園ではスポンジや毛糸など、滑りにくい物を箸でつまむ遊び等を取り入れ、箸になれ、使って食べたいと思う気持ちを育てながら食事を使っていきたいと思います。

〈自分で出来るよ！〉

少しずつ身の回りの事が自分で出来るようになりました。食後自分のコップを片付けたり、スモックを脱いで掛けたり畳んだり裏返しも直しています。自分で出来た事を大人も一緒に喜んでいく事で子どもの自信や意欲に繋がります。出来なくてもやろうとする姿を見守り、しっかり気持ちを認めていけるように関わっています。



好きなカルタの絵札をねらって真剣な表情の子どもたち



きりん組やうさぎ組さんと一緒に踊ったよ！



持ち方に気を付けながらペンでお絵描き



雪、冷たいね！



玄関で雪投げをして遊んだよ！



自分で片付けできるよ！



たたむの上手でしょ！

もうすぐクリスマス

玄関製作でも可愛らしいクリスマスリースとちびっこサンタさんの作品を展示しましたが、子どもたちが拾った松ぼっくりでミニクリスマスツリーも作りました。後日持ち帰りますのでお家で飾っていただき、楽しいクリスマスをお過ごしください。

